

福島第二 2020年度緊急時演習 評価指標 7 (実動訓練) 概要



2020年12月2日
防災・放射線安全部
防災安全グループ

福島第二 2020年度緊急時演習評価指標 7（実動訓練）概要

1. 要素訓練の目的

- 緊急時対策所と連携した事故シナリオに基づく現場実動訓練により、緊急時対策所及び現場対応要員の対応力向上を目的として現場実動及び情報連携訓練を実施する。
- 実働している現場対応要員を評価いただき、現場における課題の抽出を行い、改善事項を検討する。
- 抽出した良好事例をNRA及び電力各社と共有し、緊急時対策所及び現場の対応能力の向上を図る。

2. 要素訓練のテーマ

- a. テーマ：電源復旧
- b. 対応手順：電源車による給電
- c. 対応手段：緊急時対策所と連携し、シナリオ情報のためマスキング 電源復旧

3. 実施日

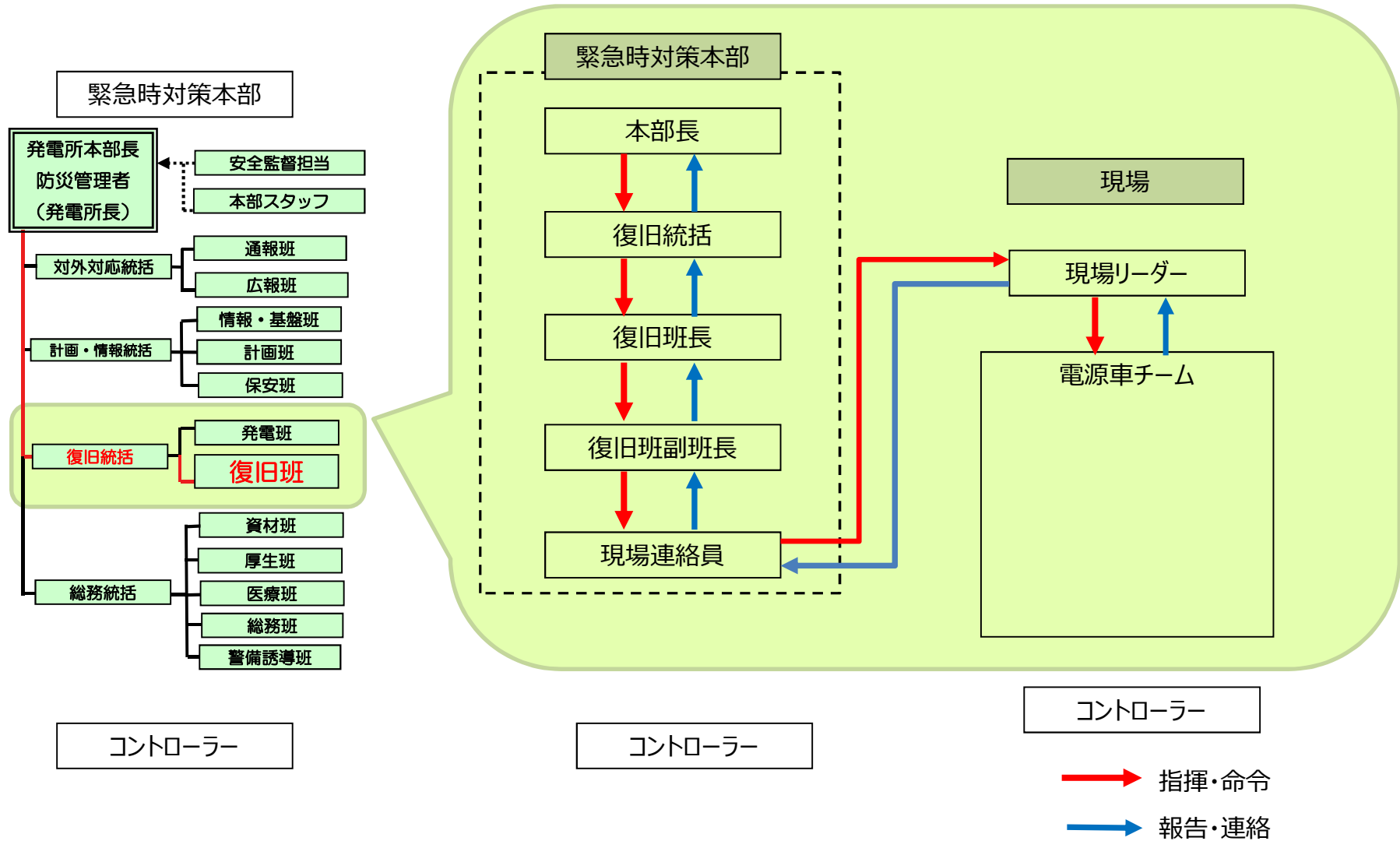
- 2020年12月11日（金）

4. 訓練実施体制

訓練体制図参照

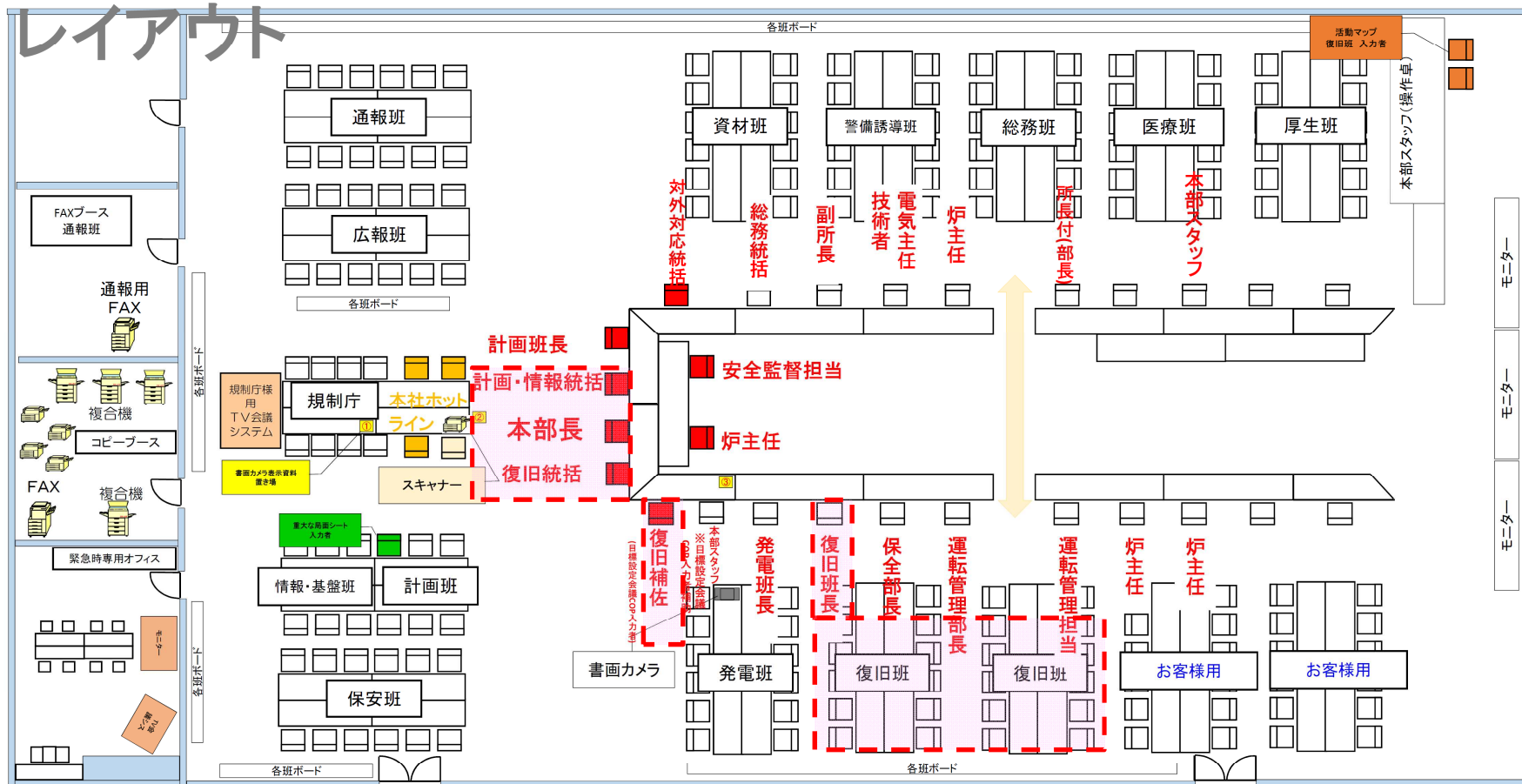
福島第二 2020年度緊急時演習評価指標 7 (実動訓練) 概要

5. 訓練実施体制



福島第二 2020年度緊急時演習評価指標 7 (実動訓練) 概要

6. 緊急対策室レイアウト



福島第二 2020年度緊急時演習評価指標7（実動訓練）概要

7. シナリオ概要

シナリオ情報のためマスキング

福島第二 2020年度緊急時演習評価指標7（実動訓練）概要

8. 訓練マルファンクション（例）

シナリオ情報のためマスキング

福島第二 2020年度緊急時演習評価指標7（実動訓練）概要

9. 構内配置図

シナリオ情報のためマスキング

福島第二 2020年度緊急時演習評価指標 7（実動訓練）概要

10. 訓練観察体制

原子力規制庁殿：○名

電力会社：○名

訓練事務局：○名

11. 訓練観察時資料

a. 訓練計画書 [発電所固有資料]

✓ 訓練体制，訓練目標等の観察に必要な基本情報の確認

b. 要素訓練観察チェックシート [発電所固有資料]

c. 手順書 [発電所固有資料]

✓ 公開可の内容については事前に送付

✓ 公開不可の内容については，当日配布で回収

✓ 訓練設定上の模擬範囲，スキップ範囲を明確化

福島第二 2019年度緊急時演習評価指標 7（実動訓練）概要

1.2. 要素訓練評価項目及び評価方法

(1) 評価項目

- ✓要素訓練全体(緊急時対策所及び現場実動)での共通的な評価項目
- ✓要素訓練テーマ(電源車接続による給電)ごとの共通的な評価項目
- ✓発電所特有の手順に関する評価項目

※全評価項目の観察, 評価を必須とするものではなく, 観察できた項目の評価を行うものとして整理

(2) 観察記録：評価の理由となる事実（Fact）

(3) 気付き事項, 良好事例, 改善事項

- ✓気付き事項：良否の判定に関係しない, 何らかの気付いた事項
- ✓良好事例：特に優れている項目。評価者が自社の改善につなげられる項目。
- ✓改善事例：改善の必要性（Factに基づく理由）及び改善方法の提案（少なくとも方向性）

(4) 評価結果等の反映

- ✓評価結果, 良好事例, 気付き事項及び改善事項については, 自社の改善計画のプロセスに取り込み, 反映する。
- ✓必要に応じて改善事項を要素訓練観察チェックシートの評価項目に追加する。

(5) 今年度の訓練以降, 評価項目の追加・削除及びその結果の総合的な評価の方法のほか, 要素訓練実施方法についても検討していく。